



宮本常一記念館で 教職員研修会

町教育委員会では、教育力向上を目的としたス
トップアップセミナーを開催しています。8月3
日には「宮本常一ふるさとセミナー」として、記
念館に9名の町内小中学の先生方が来館、学芸員
が展示を案内しました。周防大島の暮らしの変遷
を学ぼうと説明に聞き入っていました。
その後、教育現場での宮本資料の活用について



学芸員が講義しました。宮本の写真は、一見すれ
ば何でもない家や山、畑を写していますが、どれ
も当地の暮らしを的確にとらえています。町内の
小中学校では、これらの写真を調べる学習に取り
組み、十年以上にわたって続けています。
研修の翌日には、「学習の進め方の参考になった」
と、児童を連れて来館される学校もありました。
児童の皆さんは学芸員と一緒に、写真の調べるポ
イントは何かを考えました。記念館では「宮本常
一のまなざし」「ふるさと」を題材にして豊かな心
を育む教育に協力できればと思っています。(高木)

ジオラマが お目見え Diorama appeared!



資料館
八幡
日本
移民

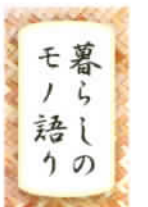
日本ハワイ移民資料館にジオラマのコーナーが
設置されました。製作者は、米澤功臣さん(大島
国際交流協会副会長)で、島内にあるティキヤホ
クレア号も制作した方です。

かねてより資料館には、移民に関する膨大な資
料や検索システム等はあるけど、子供達には、
ちよつと難しく興味をもちづらいのではと感じて
いたそうです。資料館開館20周年の節目でもあり、
何かよい企画がないかと思いを巡らせ、子供達に
親しまれ、尚かつ移民の歴史の一コマを感じても
らえるようなジオラマがあればと思いついたそう
です。そして、コロナによる自粛期間を利用し、
約三ヶ月をかけて製作されました。

畳一枚という限られた空間の中に、ハワイらし
さが実感できるジオラマです。立体的で動きもあ
り年齢を問わず楽しめるのも特徴です。

初めての移民船シテイオプトウキョウから下り
立つ移民者たち、長い棧橋の末にある検疫所、粗
末な移民小屋、汗水垂らして働いたであろうサト
ウキビ畑やタロイモ畑、そしてシュガートレーン、
盆ダンスを踊る老若男女…移民者の多様な歴史が
折り込まれています。

そして、これは何?と思うものが隠されている
遊び心も満載のジオラマです。自分なりに楽しん
で頂き、ジオラマから生まれる皆さんそれぞれの
物語を描いていただきたいと思います。(木元)



暮らしの モノ語り 六万点の民具から… パン焼き器

終戦後の昭和20〜30年代にかけて家庭でよく使
われた。口径20センチほどの小ぶりの鍋で、中央
に煙突のような穴があり火のまわりがよい。素材
はジェラルミンで平たい蓋がついている。

終戦後といえど物不足で、食料調達に苦労した。
そんな中でなぜ家庭でパン焼き器が使われたのか。
実はちまたに出回ったパン焼き器は、破棄された
飛行機の素材でできていた。敗戦後の日本では民
間航空機の運航、製造、研究が禁止されたため戦
間機になるはずだったジェラルミンから不足して
いた日用品が作られた。パン焼



き器もその一つで、米の代用食
として家庭でパンが焼かれたの
である。パンといっても材料は
小麦粉に塩とふくらし粉が重曹
をいれたもので、その小麦粉も
ふすま(小麦の皮)が混ざって
いて質のよいものではなかった。
さらに量をふやすためサツマイ

モやとうもろこしの粉をたすこともあった。これ
を水でこね、パン焼き器に入れて七輪で焼いた。
途中で蓋の上に炭をのせて上下から焼くことも
あった。そこにはなんとか家族を飢えさせないよ
うにと知恵を絞った人々の思いがこめられている。

ほんの数年前の戦時下では兵器をつくるため家
庭からも鍋や釜が供出された。しかし戦争が終
ると今度は戦闘機となるはずだった素材から暮らし
の道具が作られて家庭の中へ戻ってきた。戦時下
から戦後と世相を写し出した道具である。(古賀)

宮本常一チャンネル

を開設し動画配信



8月から宮本常一記念館ではYouTubeでの動画配信をスタート。このチャンネルを通じて宮本常一に関する資料やイベント情報、さらに周防大島の暮らしの変遷を広く知っていただければ幸いです。

動画制作には白木半島地区集落支援員の榮大吾さんに協力いただき、これまで約20本の動画をアップしました。宮本常一直筆原稿など当館の收藏品や、町内の資料館・文化財の案内、おすすめ

の宮本常一著作紹介、白木地区の宮本常一写真の撮影地訪問など記念館内外から情報を発信しています。YouTubeのサイトから「宮本常一チャンネル」で検索していただければ、誰でも自由に見ることができます。

戦争遺跡展

8月20日～9月13日に、宮本常一記念館のボランティア・地域交流員である佐藤正



治さんが訪ねた戦争遺跡の写真展を開催いたしました。戦後75年をむかえ戦争の記憶が遠ざかり、戦時中の体験や関連史跡の保存継承が急務となっております。展示は町内にある

嘉納山の海軍レーダー跡の他、佐藤さんの印象にのこった熊本県菊池市の給水塔、宮崎市の飛行場掩体壕や八紘一宇塔、千葉県柏市の飛行場跡地などをとりあげました。給水塔は戦後の復興にはたした役割も大きく、それぞれの遺跡の写真から戦中・戦後の歴史を感じることができました。

現在、日本中の戦争遺跡では保存体制に課題を抱えており、八紘一宇塔でさえも一時荒れはててしまっていた時期があったといえます。佐藤さんは、展示を通してこうした遺跡が残っていることをより多くの方に知ってもらい、残せるものは可能な限り保存継承してほしい、そして戦争経験の継承の重要性を考えてもらうきっかけになればと話していました。(徳毛)

イベントひろば

周防大島町陸上競技場・総合体育館

▼「ノルディックウォーキング」高い有酸素運動効果に注目！

健康づくりの一環として毎月第4木曜日に「いきいき健康ウォーキング」を開催。上半身を多く使い、より全身運動に近づく

ということ最近注目を集めています。エネルギー消費量は増加しながらも、ボールの効果で膝や関節の負担を軽減します。体力づくり、スタミナアップ、減量などにとっても効果的です。インストラクター指導のもと行いますので初心者の方も初めての方も安心してご参加ください。日常で出来る体操やウォーキングに関するアドバイスも行っております。



●日時：9月は24日(木)です！ 毎月第4木曜日 10時～11時半

●場所：周防大島町陸上競技場

※雨天時総合体育館アリーナ(室内履きをお持ちください)

●対象：どなたでもご参加いただけます

●参加料・ボールレンタル：無料(予約不要です)

●携行品：タオル・飲み物・帽子等

●その他：歩きやすい服装でご参加ください
お気軽にお問合せください。ご利用お待ちしております。

▼新型コロナウイルス感染症対策のお知らせ

周防大島町総合体育館・陸上競技場では、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の対策として、お客様・従業員の健康と安全を第一に考え、また安心してご利用いただけるよう「新型コロナウイルス感染症対策」施設の利用に当たっての留意事項を

に基づいた衛生強化を行っております。今後も状況を注視しながら行政機関の情報・指導に基づき適宜必要な措置を行ってまいりますので、ご利用、ご予約などお気軽にお問合せください。皆様のご利用をお待ちしております。

八幡生涯学習のむら

▼勾玉づくりが体験できます！

勾玉は古代の装身具で弥生時代から古墳時代に多く作られました。やわらかい石を紙やすりで削って自分だけの勾玉製作。磨き上げればピカピカに！ 出来上がった勾玉には色をつけたり、ペンダントにして楽しむことができます。古代の人に思いをはせてみませんか。



●受付開始日：令和2年9月15日(火)。
申込時に希望日をご相談ください。

●時間：①9時～②13時半

●場所：八幡生涯学習のむら ふれあいの間

●材料費：1セット500円

●定員：2名～15名程度(付き添いの方を含む)

●休館日：毎週月曜、祝日の場合はその翌日
問い合わせ：0820・72・2601

コロナ対策

※本誌掲載の各種情報は新型コロナウイルス感染症の影響で変更になる場合があります。必ず主催者へお問い合わせください。